

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2019年3月22日

事業所名：すこやかキッズランド神戸北

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	時間で活動を区切ることで、十分なスペースが確保できている。	十分という声が多かったが年長児には狭いかもの声もあった。	引き続きスペース確保の為に整理整頓を徹底する。
	2 職員の適切な配置	子ども10名に対し過半数以上の職員を配置している。	「はい」が多かったが、言語療法の先生が来てくれたらと希望する声があった。	これからも子どもたちが安全に生活が送れるように人員の配置を心がけていく。個々のスキルアップもめざす。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ワンフロアで室内には段差を無くし、視覚支援を用いて理解しやすい環境を整備している。	ほぼ「はい」というお答えでわからないの返答もあった。	日々の生活の中、声かけや絵カードなどで遊ぶスペースなどが認知できるよう支援していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃や手に触れる物はアルコールにて消毒することで清潔を保持している。また、フロアにクッションマットを敷く等安全で温かい空間作りに取り組んでいる。	活動スペースが取られていて、危ない玩具がないところがいいと思った。	引き続き清掃、消毒をし、おもちゃの破損がないか定期的なチェックをしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の朝礼時と定期的に上司からの聞き取りを行い、それに対するアドバイス等がなされている。		職員が積極的に参加できるようにさらに環境を整えていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は、実施していない。		第三者による外部評価はないが子どもたち、保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の虐待防止、研修会議などを定期的実施		引き続き定期的な研修を行う。外部の研修への参加も積極的に参加する
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのモニタリングでの聞き取りを行いそれを基に職員間での話し合いによりニーズや課題の分析を行い作成を行っている。	丁寧な支援計画が作られていると返答をもらった。	保護者の方からニーズ、お家での様子を伺い、個々の子どもの現状に合わせた計画書作成を行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団での取り組みや個々の課題を計画書に盛り込み子ども発達段階に応じて職員間の話し合いの上、作成を実施している。	丁寧な支援計画が作られていると返答をもらった。	引き続き個々の支援だけでなく集団生活に対する支援の内容を含めた計画書を作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員への聞き取り会議をもとにアセスメントを作成し子ども一人ひとりに応じた目標、支援に応じた項目の設定している。	出来ているという声と、もっと詳しく聞きたいとの声もあった。	個々の子どもの現状と課題を説明し課題に対する支援内容の記載に努める。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が計画の内容を把握し計画に沿って適切に実施するよう努めている。	実施してくれているの声が多かったが、もっと詳しく知りたいの声もあった。	引き続き、計画に沿って実施していることがわかって頂けるよう、連絡帳、送迎時の伝達に心がける
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員と半年ごとに子ども一人ひとりの成長と課題をまとめ支援内容、活動内容を決めている。	出来ているの声を言頂いた。	職員から、個々の子どもの課題に対しての成長や現状の聞き取りをしている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園と併用の児童の長期休みの時などは利用希望をとるなどし出来るだけ利用して頂ける様に配慮している。	出来ているの声を言頂いた。	引き続き、ニーズに沿った支援を心がける。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもが遊びとして微細運動や塗り絵、パズル、型ハメや運動遊びを楽しめるよう取り組んでいる。	出来ている声が多かったが、分からないのこえもあった。	色々な催しを通して季節を感じたり、集団で遊ぶ楽しさを感じれるよう心掛けていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の朝礼で支援内容や役割分担の確認を行っている。		引き続き朝礼で個々の子どもの支援内容や役割、職員の配置の確認を行い支援が円滑に進むよう努める。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に気づいた点はその日のうちに報告し、翌日の朝礼やノートに記載し情報の共有を行っている。		引き続き終了後、個々の子どもに対する支援のフィードバックを行い支援の向上に努める。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の健康状態、食事の摂取量など細目な記録を行うと共に随時、職員間の話し合いの時間を設け検証改善を行っている。		各記録に不備がないよう日々のチェックと月末のチェックを実施している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回モニタリング実施し、計画書の見直しを行っている。	日々の支援に対してのフィードバックをまとめ支援計画書の見直し作成を実施する。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子どもの状況を把握している責任ある職員がサービス担当者会議に参画をしている。	引き続き管理責任者が会議に参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	自発的な情報提供は行っていないが、保護者、移行後の施設からの依頼があれば、その都度情報を提供している。	個々の子どもが円滑に生活ができるよう必要に応じて対応していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	該当なし
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	今後多くのスタッフが研修に参加できるように調整していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、他施設との情報提供以外の交流は行っていない。	機会があればうれしいという意見もありました。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在地域住民との招待等はありません。		機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用前の見学時や契約時に、担当の職員が丁寧に説明を実施している。	「はい」の声を頂いた。	引き続き丁寧な説明を心がける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を保護者に提示し、説明を行っている。	「はい」の声を頂いた。	引き続き丁寧な説明を心がける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングのプログラムの実施はないが、相談依頼があれば、個別に対応できる環境を整えている。	ペアトレなどを学ぶ機会があればいいと希望する声があった。	保護者へのアドバイス等は今後も都度行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の送迎時に報告、意見交換と電話での相談での共通理解に努めている。	「はい」と「どちらともいえない」の声があった。	今後も保護者との情報交換・共有が適切に行えるように改善点があれば検討改善に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時に、保護者から話を伺う事が多い。必要時は電話や面談にて助言を行っている。	出来ていると返答が多かったが、障害特性等について悩むことがあるので定期的な機会があればという声があった。	今後も都度保護者からの相談には対応し適切な助言を行えるように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会等は実施していない。	交流を持ちたいと、持たなくてもいいの意見に分かれた。	現在父母会等の実施の予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制は、契約時の書類に記載して説明しており、対応する体制は整えている。	「ない。わからない。」が多かった。	引き続き苦情があった場合は、迅速丁寧に対応できる体制を整えておく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードの使用やジェスチャー、定期的な声掛けをおこなっている。保護者には送迎時、連絡帳にて日々の様子をお伝えしている。	連絡帳、送迎時、必要があれば電話で情報伝達をしてくれる。	引き続きわかりやすい情報伝達のに努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報等の発行は出来ていないが、活動概要や行事の予定等は連絡帳、送迎時に口頭で伝えている。	行事があった時に子どもの写真をいただけだが、保護者だけが見れるホームページなどがあればいいなと思った。	今後も十分な情報発信に努め、改善点があれば検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	取り扱いには保護者に同意を得たうえでを行い。個人情報を記載した書類は鍵付き倉庫で保管している。	「はい」の声を頂いた。	今後も契約時の説明をしっかりと行い、保管や共有の際の取り扱いには細心の注意を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知は行っているが保護者への通達は一部行えていない。	「はい。」の答えが多かったが一部伝えられていない保護者がいた。	マニュアルの定期的な更新を行い。保護者への周知を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2回災害発生を想定した訓練を実施している。	「わからない」が多かった。	今後も計画通りの訓練の実施を行い。当日参加していない児童の保護者へも訓練実施の報告を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止の研修を必ずおこなっている。また、毎月チェックリストでの自己確認をおこない、虐待防止意識の向上に努めている。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施した事例はないが、子ども自身に危険がある事例については、その事業所だけでなく会社全体での会議で決定しており、全職員に周知している。また、保護者にも十分に説明し、理解いただいた上で、支援計画書へ記載している。		引き続き全体での会議で慎重に決定していく、全職員が周知できる体制を継続していく。計画書の記載、保護者への説明も徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書の提出はおこなっていないが、保護者からの申告により、全職員が情報を共有し、安全に配慮した体制を整えている。		保護者、医療機関等との情報収集や連携を更に推進していき安全な対応を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例についてはノートに記載し、職員が情報共有をおこなっている。また、他の事業所での事例についても周知をおこない、再発の防止について意識の徹底を図っている。		引き続き、書面でのヒヤリハットの作成と職員が共有するよう、話し合い等を行なっていく。